



サンゴにとって安全な

なぜ“リーフセーフ”な日焼け止めを使う必要があるのか？

日焼け止めは泳いだり、ダイビングやシュノーケルをする際に広く使われています。

しかし、日焼け止めに含まれるオキシベンゾンやオクチノキサートなどの化学物質は、たとえ少量であってもサンゴに害を与えるという研究結果が報告されています。

日焼け止めを塗ったまま水中に入ると、日焼け止めの成分が流れ、サンゴ礁に害を与えます

これらの化学物質はサンゴの白化やDNA、繁殖に影響を及ぼすことが実験室での研究で明らかになっています

サンゴにやさしい日焼け止め
(サンゴに害があると証明されている化学物質を含まない)

を使うことで、有害な化学物質が海に流れ込むことを避けられます

また、日の当たる場所で肌を出さないことも重要です

